

2012年(平成24年)5月7日

# CFネット流 実践家

年収300万円の時代という書籍があった。面白おかしく書かれたものと思っただ人も多かったと思う。ところが現在、男性の3分の1が年収300万円以下、女性においては3分の2が300万円以下の年収になっている。本に書かれていた300万円年収の時代が確実にやっけてきているのである。実は「300万円の年収時代」まだ序曲に過ぎない。私は「年収100万円の時代」が必ずくると予想している。

まさか、そこまで思っ方も多々と思う。では、

22

## 「年収100万円の時代」が来る

60歳以降の年収はどうだろう。女性の2人に1人は寿命が90歳を超える時代だ。60歳定年後の30年間、年収はいくらになるのか想像したことはあるだろうか。

そう、年収100万円である。私の勝手な説ではあるが、「人生2度社会人説」がある。

にボーナスも確実に得ることができた。年功序列によって職位も上がり、終身雇用で60歳まで安心して働くこともできた。定年時には高額の退職金もある。さらに、60歳以降は安定的にもらえる年金が準備されていた。そのため、80歳までの20年間はバラ色の老後生活

00万円。もちろん、70歳まではこの100万円すら約束がない。月額6万円の収入、しかも女性の85%が75歳には15年、この収入で生きていかなければならないのだ。しかも一人で贅沢ではない。普通の生活を送るた

### 公的年金頼みの危うい老後

#### 早いうちから具体的対策を

まず、1度目は、大学を卒業する22歳から60歳までの30年間。2度目が60歳から90歳までの30年間を指す。老後などはない。少し前までは、社会人としての人生は1度で問題なかった。優秀な大学を卒業し、有名な企業に就職すれば、年功賃金によって確実に年収が上がった。給料とともに

を夢見ることがある程度約束されていたのである。これからはどうであろう。今の年金制度を考えば、年金は70歳まではもらえないと思う。万が一、今の年金制度が継続し、70歳から年金がもらえた場合でも、国民年金だけでは月額6万円だ。厚生年金をもらえた場合でも年収は1

めには退職後も30年間、現役で働かなければならないのである。

若いうちは、働ければ稼ぐことはできるし、選べなければ働く場はある。では70歳近くで働く場は現実的にはどうであろう。

どんな人でも必ず歳をとる。そして普通の人には100万円の年収生活が必ず

くる。これは予言ではなく必ずくるのだ。必ずなら、今から何かの対処はできるはずである。

自己投資をし、そもそも年収をあげるのも良い。定年に負けないことを身につけることも良いであろう。自分が働けないのなら、不労所得(不老所得)を考えることも必要になる。

昔はなにか行動を起こすことはリスクがあるから怖いと避けられた。ただ、将来の姿がハッキリ見える今、何もしないことのリスクが1番のリスクになる。そんな時代になっていることをまずは理解することが必要だ。そして何か行動を起こすことである。しかも行動を起こすのは、なるべく早くにと、私は思う。

大貫一生(CFネット経営企画室長・ライフデザイン事業部)